

北本あんぜん情報 第119号

くらし安全課交通・防犯担当（☎ 594-5522）



北本メールが便利

北本メールでは防犯情報等を配信中。
登録は右のQRコードから！



市内刑法犯認知件数（令和3年）

区分	令和3年中	
	件数	前年比
街頭犯罪	路上強盗	0件 -1件
	ひったくり	1件 +1件
	オートバイ盗	2件 0件
	自転車盗	44件 -21件
	自動車盗	4件 0件
	車上ねらい	10件 0件
	部品ねらい	10件 +5件
	自動販売機ねらい	3件 +1件
	計	74件 -15件
侵入窃盗	24件	+10件
刑法犯認知件数	313件	-39件

※刑法犯認知件数とは、警察によって犯罪の発生が認知された件数のこと

令和3年中での市内刑法犯認知件数は313件で、前年と比較すると39件減少しました。

しかし、部品ねらいや侵入窃盗などは増加していますので、1人1人が防犯対策をとりましょう。

振り込め詐欺被害STOP！

令和3年中の市内特殊詐欺被害件数は18件で、被害金額は約2,250万円と多額の被害が発生しました。不審な電話が掛かってきた際は、必ず一人で判断せず、周りの人や警察に相談しましょう。

〇キャッシュカード詐欺盗をご存知ですか？

最近非常に被害が増加している詐欺です。犯人は、警察官などと偽って電話をかけ「キャッシュカードが不正に利用されているので、預金を保護する手続きが必要です。」「封筒にカードと暗証番号を書いた紙を入れておいて下さい。」などと嘘の手続きを電話で説明してきます。その後、犯人が自宅を訪れ、被害者が目を離した隙に、あらかじめ用意していた偽物と本物の封筒（カード）をすり替える手口です。注意しましょう。



蒲ザクラの根元にある範頼の石塔

源範頼と石戸宿の東光寺

蒲ザクラがある東光寺に伝わる話では、範頼は修善寺で殺されず追っ手から逃れ、石戸宿へたどり着いたとされます。この時手にしていた杖が、範頼の伝説につながるのです。
こうした言い伝えは、市周辺に残されている「範頼が鴻巣市糠田を治めていた安達盛長の娘婿である」「吉見町で幼少期を過ごしていた」などの話を背景に生まれたのかもしれない。

史実の源範頼

範頼は兄に鎌倉幕府を開いた源頼朝、弟には義経がいます。大河ドラマ「鎌倉殿の13人」でも描かれるように、自身は平家討伐の折には総大将を務め、歴史上有名な「ノ谷屋島、壇ノ浦の戦いで大きな役割を果たします。

こうした合戦は派手な奇襲戦法をとっていた義経を中心に語られることが多いのですが、範頼は各地で平家本隊と正面から対峙、あるいは後詰の任にあたり、平家を倒すために多大な功績をあげました。その後、兄・頼朝とともに奥州征伐などにも参戦し、初期の鎌倉幕府を支えています。しかし、些細なことから頼朝に疑いをかけられ、伊豆の修善寺へ流されて、そこで討たれてしまったといわれています。



源範頼（横浜市太寧寺蔵）

連載第2回

石戸蒲ザクラ国指定一〇〇年

源範頼の伝説

石戸蒲ザクラの「蒲ザクラ」という名前は、平安時代末期の武将、源範頼からつけられました。

範頼は遠江国、現在の静岡県浜松市にある蒲という地で生まれ、蒲冠者を名乗りました。蒲ザクラは、範頼が突いてきた杖が巨樹になった、あるいは範頼の手植え、また範頼の墓所に植えた桜である、などの言い伝えが残されています。すなわち蒲冠者の桜で蒲ザクラなのです。

取材ノート

岡市長公室シニアプロモーション・広報担当
（☎ 594-5505）

手話でおしゃべりしませんか？ - 「手話べりかふえ」のこと -

「私たち、「手話べりかふえ」をやっているんですよ。ぜひ来てみてください」
そう言われたのは、2月に開催された「市民ライター講座」の時間でした。声をかけてくださったのは、講座に参加していた小倉明美さんと塚田愛さん。社会福祉協議会職員で手話通訳士でもある小倉さんの「手話を身近に感じてもらえる場所をつくりたい」という想いに、小学生の時に手話クラブに参加していた塚田さんが共感。イラストが得意な塚田さんがチラシをデザインし、ボランティアの方々と一緒に北本団地のシェアキッチン「中庭」で、「手話でおしゃべり」の時間を楽しむ「手話べりかふえ」を始め、3月の開催日にお邪魔しました。



13・30のオープンとともに、店内の座席は満杯に。お客さんも運営メンバーも、一緒にテーブルで「手話べり」を楽しみます。声はなくてもにぎやかな雰囲気は伝わるようで、前を通りかかった人が「今日も盛り上がりつつあるね」と声をかけてきます。
お客さんにお話を聞くと、友だちに誘われて手話を始めたという人や、この「手話べりカフェ」で数年前に再会した、という人たちが。ある人は「前は手話が全く分からない初対面の人に、私が手話を教えたんですよ」と話してくれました。
実際に、私たちも簡単な手話を教えていただいたり、写真やカメラについて「手話べり」しました。やってみると、手の動きや表情で伝える「手話」は、口での会話以上に気持ちが伝わり込み、思わず熱中。あという間にクロージングの時間になっていました。



その他の
リポーター記事は、
市ホームページから
ご覧になれます



北本市広報担当 twitter
@ kitamoto_koho



北本市公式 facebook
「アンドグリーン & green」

突撃！ 市民リポーター



奥村 鈴菜さん

きたこれ掲載店「ダンデライオン」さんに伺いました！

北本市市民リポーターの奥村です。
先日ダンデライオンさんに伺いました。



ダンデライオンさんは、市内の東間地区にあるカジュアルフレンチのお店です。ご家族でのお食事や誕生日など特別な日に利用される人も多いようです。
伺った日は私の誕生日ということで、いつもよりちょっと贅沢なランチをいただきました。

私が頼んだのは「スペシャルランチ」。オードブル・本日のスープ・サラダ・パンまたはライス・ドリンク・デザート・メインのお料理2品がつくランチコースです。

この日のメインは、お魚料理「金目鯛と帆立貝とフレッシュの海苔とキノコのナージュ」、お肉料理「牛フィレ肉クリームチーズ詰めグリエガーリック風味赤ワインソース」を選びました。どれもとても美味しくいただきましたが、特に印象的だったのがお魚とバター風味が感じられるスープと一緒にいただく帆立貝。表面はカリッとしてスープとの相性も抜群ですごく美味しかったです。



一緒に伺った主人は「ダンデライオンランチ」を注文していました。どれも美味しく、二人ともお腹も心も満たされました。
ぜひ皆さんも、大切な人とお食事はいかがですか。事前に予約するのがおすすめです。